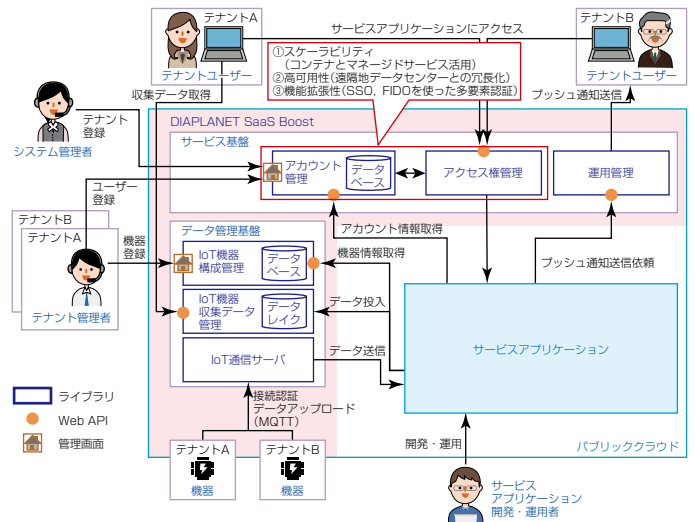


SaaS事業の立ち上げを迅速化する基盤構築パッケージ“DIAPLANET SaaS Boost”

IT Platform "DIAPLANET SaaS Boost" Accelerating Launch of Software as a Service Businesses

新規にパブリッククラウドを用いてSaaS(Software as a Service)を安価に短期間で構築したいといった要望に迅速に対応することを可能にする“DIAPLANET SaaS Boost”はSaaS利用者のアカウント管理、アクセス権管理など行う“サービス基盤”と、IoT(Internet of Things)システム向けにIoT機器の接続承認や機器と所有者の紐(ひも)づけ、IoT機器からのデータ収集・格納などを行う“データ管理基盤”を提供している。今回、アカウント管理とアクセス権管理を行うSaaS利用者認証機能を、大規模利用者システムに耐え得るスケーラビリティと、将来の機能拡張性に備えるため、ID管理のOSS(Open Source Software)であるKeycloakを採用して選択可能にした。さらに適用システムに求められる可用性と負荷の増減に応じたスケーラビリティは、パブリッククラウドのコンテナサービス上で、複数台のKeycloakのコンテナを立てることで実現した。これによって、性能目標としていたユーザー認証500リクエスト/秒に耐えられることを確認した。また、パブリッククラウドの地域の離れたデータセンターに待機系システムを構築可能にして、高可用性を実現している。機能拡張としてSSO(Single Sign On)やFIDO^(注)

(Fast Identity Online)を使った多要素認証も可能にした。なお、DIAPLANET SaaS BoostのSaaS利用者認証機能は、三菱電機インフォメーションシステムズ株が提供する統合認証サービス“MistyAuth”に採用されている。今後、機能向上と更なる利用拡大に向けて、改良開発を続けていく。



API : Application Programming Interface, MQTT : Message Queuing Telemetry Transport

DIAPLANET SaaS Boostの概要

MIND CFCによる顧客CSIRT業務支援強化

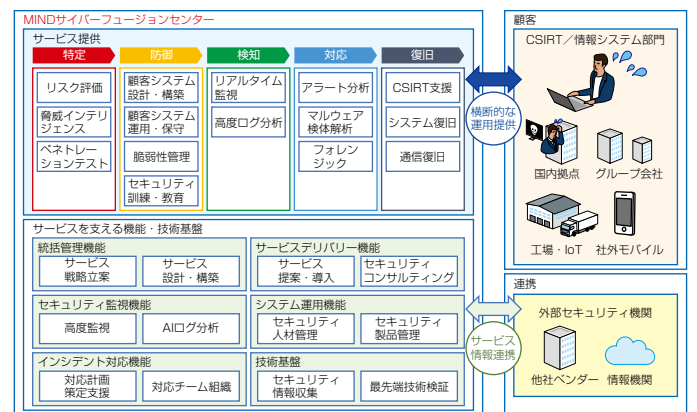
Support Services by MIND CFC for Computer Security Incident Response Teams

近年、企業のセキュリティ対策はサイバー攻撃の高度化やテレワーク拡大によって、従来の境界型防御からゼロトラストに基づく対策へ移行が進んでいる。また、セキュリティ対策は部分的なものではなく、セキュリティライフサイクル全体を俯瞰(ふかん)する対策が必要になる。多くの企業では複雑化したIT環境のセキュリティ対策でノウハウ・人材の不足が課題になっている。

三菱電機インフォメーションネットワーク株(MIND)では、顧客に対してセキュリティライフサイクル全体を横断的に支援するため、サイバーフュージョンセンター(CFC)を開設した。CFCでは大手金融・製造業の顧客運用で培ったノウハウや最新技術を利用したサービス群を顧客に提供する。CFCは個別企業では対策が困難なサイバー攻撃の脅威に対して、三菱電機株情報総合研究所と開発したAIを利用した高度ログ分析を導入する。また、従来、顧客が対応していたインシデント対応・復旧業務に対してフォレンジックサービスの提供を開始した。顧客CSIRT(Computer Security Incident Response Team)

組織はCFCのサービス利用を通じてサイバー攻撃に対するインシデント対応力を強化することが可能になる。

MINDはCFCを通じて顧客CSIRT組織と一体になって、高度なセキュリティ対策を提供することで、顧客セキュリティ対策へのより一層の貢献を図る。



MINDサイバーフュージョンセンターの機能

< 取り扱い : 三菱電機インフォメーションネットワーク株 TEL : 03-6771-6029 >

薬歴クラウド開発



Cloud Migration of Electric Medication History

少子高齢化社会の本格化に伴い地域包括ケアシステムの構築が求められている中、保険薬局は“薬を渡す場所”から“地域での健康管理の中核プラットフォーム”へと進化していく必要がある。三菱電機ITソリューションズ株(MDSOL)では、新たな電子薬歴サービス“次世代コミュニケーションサービス(仮称)”を2023年上期にリリースする。

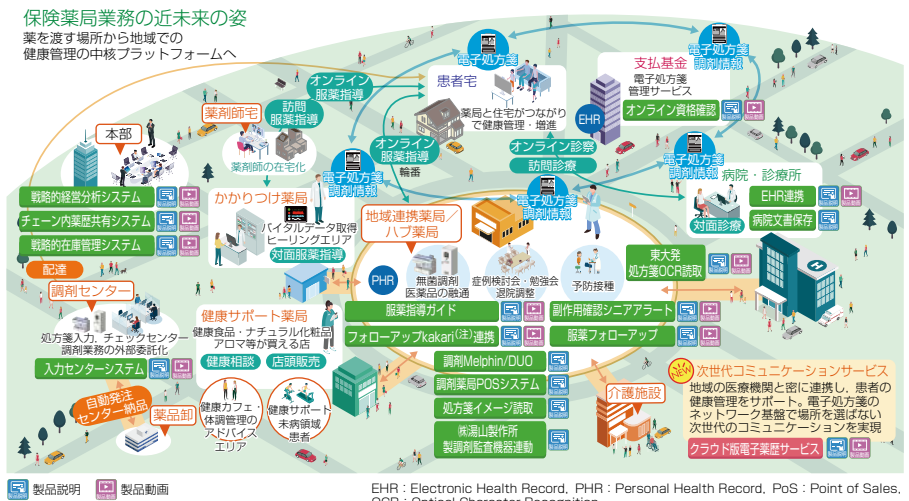
“必要な人に必要な時に必要な指導を”“短時間で適切に”“しっかりつながる”をコンセプトにクラウド環境で電子薬歴サービスを提供する。

このサービスでは次の4機能を開発する予定である。

- (1) 誰が使用しても操作しやすいユニバーサルデザインに基づいた画面
(2) 詳細な指導が必要な患者には“しっかり”と、短時間での指導が必要な患者には“スピーディ”に。処方変化、患者情報、過去の薬歴など、必要な情報をシン

プルに表示することで、短時間での服薬指導計画の策定を支援する機能

- (3) 患者や医師とのやり取りの記録を時系列に表示し、患者とのコミュニケーションを支援する機能
(4) 薬剤師評価の一環として、AIによって薬歴を評価する機能



保険薬局業務の近未来の姿

<取り扱い：三菱電機ITソリューションズ株 TEL：03-5309-0600>

CCoEによるクラウド応用技術・知見の集約と導入支援・コンサルテーション活動



Cloud Center of Excellence-Technology and Knowledge Consolidation for Cloud Integration Business

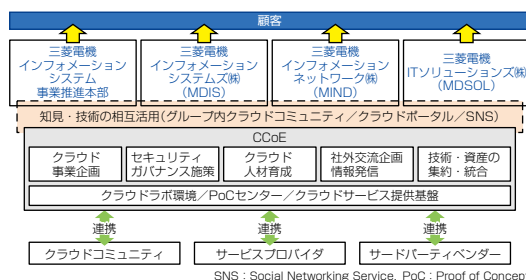
近年、情報技術を専門としない業種や、情報システム部門ではない事業部門も含めて、クラウドを活用してコンパクトにサービスを立ち上げる時代になった。クラウド上のシステム設計ではクラウドネイティブと呼ばれる最適設計に加えて、運用性、セキュリティ、信頼性、パフォーマンス効率、コスト最適化、及び持続可能性の検討が必要になる。例えば、セキュリティ対策が不十分なままインターネット上にサービスを公開するリスクや、性能設計の検討が不十分なために高額な課金請求を受けるリスクなどがある。

また、クラウドの能力を最大限に発揮するためには、アジャイル開発や継続的インテグレーション/デリバリー(CI/CD)を取り入れる必要もある。

三菱電機と、ITソリューション事業を営む関係会社3社では、グループ内にCCoE(Cloud Center of Excellence)を組成し、クラウド応

用技術に関する知見の集約と発揮のサイクルを作り上げて、最先端のクラウド応用技術を安心・安全に顧客に提供可能とするとともに、自社のクラウドサービス事業の立ち上げや運営の俊敏性を高めた。

DX(Digital Transformation)やIoTを指向する中でクラウドが広く活用されている状況で、これら技術・知見を共通基盤として集約・体系化し、クラウド導入支援・コンサルテーション活動を介して三菱電機グループの総合力で顧客に貢献していく。



CCoEへのクラウド技術・知見の集約と発揮

<取り扱い：三菱電機インフォメーションシステムズ株 TEL：070-3983-2234>



技術・知見の流通と相互活用のためのポータルサイト